

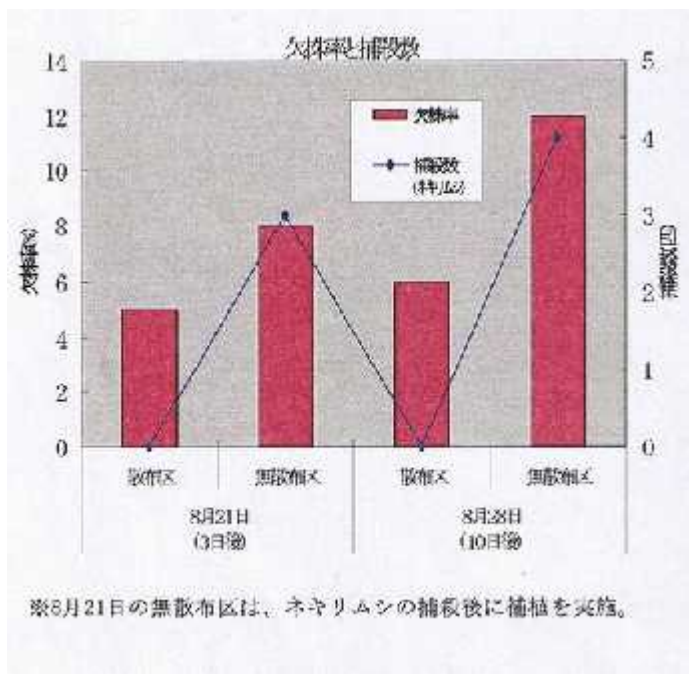
ニーム顆粒 虫害回避効果 実証試験



有機JAS規格適応栽培の元で使用可能な資材であるニーム顆粒の、虫に対する回避効果を調べるため、福島県の相双農林事務所双葉農業普及所で試験を行いました。今回行っていただいた試験は、「ブロッコリーでのネキリムシに対する回避効果試験」です。ある程度の効果は予測しておりましたが、実際には予測をかなり上回る効果が現れました。



- ◆ 試験名 ◆
ニームの実の核（顆粒加工品）のブロッコリーに対する虫害回避効果実証試験
- ◆ 試験のねらい ◆
有機JAS規格適応栽培の元で使用可能な資材である「商品名 ニーム顆粒」のネキリムシ（カブラヤガの幼虫）に対する回避効果を確認する。
- ◆ 使用資材 ◆
ニーム顆粒（井手商会）
窒素 2.0%、5.0%
リン酸 0.6%、1.0%
加里 1.2%、1.6%
- ニームの種を圧縮して、ニームオイルを抽出する際にできる絞り粕を粒状に固めたもの。
- ◆ 耕種概要 ◆
品種 沢ゆたか
前作 カボチャ
残さ鋤込み・耕耘日 平成18年8月10日
定植日 平成18年8月18日



栽植密度
条間8センチ
株間30センチ
10aあたり四一六七本
散布日
平成18年8月13日
その他
外からの害虫飛び込むを防ぐため、定植直後より防虫ネット（1ミリ目合）で圃場全面をトンネル被覆した。

◆ 施用方法 ◆
10アールあたり約57キロ（3・5aに20キロ）を圃場全面に散布し、土中約10センチにロータリーを使用して混入した。

◆ 調査方法 ◆
調査区あたり連続した百株を3反復で調査した。なお、欠株には機械定植に伴う植え痛み等のロスが含まれる。また、ネキリムシは欠株まわりを掘り起こし、その有無を確認した。

◆ 結果 ◆
左表の通り。

◆ 考察 ◆
定植3日後には無散布区でネキリムシの食害が見られ欠株が発生した。散布区

センチにロータリーを使用
して混入した。

の欠株率は5%であり、無散布区の8%に比べて、3%低かった。また、定植10日後では無散布区は12%まで欠株率が拡大したが、散布区は6%で、定植3日後と比較して大きな増加は見られなかった。無散布区では定植3日後に捕殺、補植を実施したことから、ニーム顆粒の全面散布によるネキリムシ（カブラヤガの幼虫）に対する被害回避効果が確認された。

※相双農林事務所双葉農業普及所の資料より抜粋

恵水 けいすい

新商品の葉面散布灌水
灌注用ケイ酸資材「恵水」のご紹介です。恵水は、バイオケイ素に含まれる成分を特殊な製法で抽出し、葉面と土壤に散布できるようなした有機質と無機質の混合液肥で、無臭かつ無害な茶褐色の透明液体です。恵水に含まれるケイ酸は活性化されたケイ酸ゾルです。植物に吸収されるにはケイ酸ゾルでなければなりません。恵水には活性ケイ酸、ゾルのほかに、完熟堆肥から抽出したアミノ酸、レブロン酸等の土壤有機酸、糖、酵素が含まれており、相乗的効果を発揮し、作物に健全ですこやかな成長を促します。



■ 活性ケイ酸とは？
ケイ酸に結合されているアルミナやカルシウムなどを切り離しケイ酸単体のものをいいます。一般的には結合したものを切り離すことが困難なことからあまり知られておりません。吸収率の高いケイ酸は、活性ケイ酸（シリカゾル）です。

■ 販売価格（税込）
5キロ 3150円
20キロ 1万5000円

※お問い合わせは株式会社井手商会まで（電話0248・41・2621）